

映画「ハッピー☆エンド」上映会・萬田緑平先生お話し会を開催しました

一般社団法人未来社会推進機構

令和 8 年 7 月 4 日(土)、長野市東部文化ホールにおいて、一般社団法人未来社会推進機構主催による映画「ハッピー☆エンド」上映会および在宅緩和ケア医・萬田緑平先生のお話し会を開催しました。当日は、一般、学生、高校生以下、スタッフを含め約 170 名の皆様にご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。

今回のイベントは、「生と死を分けず、人生そのものを大切に見つめ直す時間を地域の皆さんと共有したい」との思いから開催したものです。

上映した映画「ハッピー☆エンド」は、在宅緩和ケアを選択した 5 つの家族の日々を通して、「どのように生き、どのように最期を迎えるのか」を静かに問いかけるドキュメンタリー映画です。住み慣れた自宅で、自分らしく最期まで生き抜こうとする人々の姿を描きながら、医療だけではなく、家族や地域とのつながり、生きることと死を支える温かな関係性の大切さを伝える作品です。また、樹木希林さんの講演映像や、佐藤浩市さん・室井滋さんによるナレーションも作品に深い余韻を与え、多くの参加者が静かに見入る姿が印象的でした。

上映後には、映画にも出演されている在宅緩和ケア医・萬田緑平先生によるお話し会を開催しました。萬田先生は、在宅緩和ケア医として 2,000 件を超える看取りに寄り添い、「本人が望むことを全力で支援する」という信念のもと、全国で講演活動が続けられています。当日は、ご自身の豊富な経験をもとに、「最期まで目一杯生きること」の意味や、人生の最終章を支える家族や地域の役割について、温かく、時にユーモアを交えながら語っていただきました。参加者からは、「死を考えることは、生きることを考えることだと実感した」「家族との時間を大切にしたい」「在宅看取りという選択肢を初めて知った」など、多くの感想が寄せられました。

イベント終了後には 122 名の皆様からアンケートにご協力いただきました。貴重なご意見、ご感想をお寄せいただきましたことに、心より御礼申し上げます。いただいた声は、今後の事業運営や地域における看取り・対話の場づくり、さらには「いのち」や「地域のつながり」を大切にする社会の実現に向けた活動へ活かしてまいります。

ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました関係者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

私たちは、これからも映画や対話の場を通して、一人ひとりが『どう生きるか』『どう支え合うか』を地域で考え、語り合える機会を積み重ねてまいります。

令和 8 年 7 月15日

【当日の様子】

※映画上映会の様子



※萬田緑平先生のお話し会



※会場の様子



※受付等の様子



※スタッフ・関係者他

